

### 第3回（定例）兵庫県教育委員会会議録

#### 1 開会・閉会の年月日時及び場所

令和3年5月6日（木）13:30～14:15

神戸市中央区下山手通5丁目

兵庫県教育委員会教育委員会室（委員はオンラインによる出席）

#### 2 会議に出席した者の職氏名

教育長	西上教育長	
教育委員	清水委員	牧村委員
	空地委員	横山委員
	並河委員	
事務局	唐津教育次長	吉田事務局参事兼総務課長
	稲次教職員課長	村田義務教育課長
	小俣特別支援教育課長	杉谷社会教育課長
	北中体育保健課長	兼本高校教育課参事
	田村スポーツ振興課参事	

#### 3 署名委員の指名等について

(1) 署名委員は、西上教育長の指名により、次のとおり決定された。

清水委員 並河委員

#### 4 前回会議録の承認に関する件

##### 第2回（定例）兵庫県教育委員会会議録の承認

第2回定例教育委員会における議事6件、報告事項1件の会議録について、吉田事務局参事兼総務課長が説明し、全員異議なく承認された。

#### 5 報告事項

##### (1) 新型コロナウイルス感染症の直近の状況等 ①学校 ②社会体育施設等

緊急事態措置以降の県立学校及び社会体育施設等における感染状況等について、北中体育保健課長及び杉谷社会教育課長が報告した。

##### (2) 令和4年度兵庫県公立学校教員採用候補者選考試験2次試験（模擬授業）における変更点

令和4年度兵庫県公立学校教員採用候補者選考試験2次試験（模擬授業）におけるICTを活用した模擬授業に数学を追加することや、使用予定のアプリケーションについて、稲次教職員課長が報告した。

##### (3) 関西マスターズスポーツフェスティバル2021の開催

「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の開催に向け、生涯スポーツの機運醸成等、すそ野の拡大を図るため、種目別大会を一般県民が参加できる「オープン型」の大会として「関西マスターズスポーツフェスティバル2021（第16

回ひょうご生涯スポーツ大会・ふれあいスポーツ大会・ねんりん交流大会)」を開催することについて、田村スポーツ振興課参事が報告した。

## 6 委員の主な意見及び事務局の説明

### (1) 新型コロナウイルス感染症の直近の状況等 ①学校 ②社会体育施設等

(空地委員)

変異ウイルスの低年齢化や重症化が問題であるが、中等症・重症者の感染者はいるのか。

(北中体育保健課長)

中等症、重症者の報告はない。

(空地委員)

養護教諭などが感染者に連絡を取っているのか。

(北中体育保健課長)

学校から連絡することもあるが、直接本人と詳しくやりとりをすることはできていないと聞いている。

(空地委員)

自宅等での療養が増えているが、決して良いことではない。生徒や教職員の体調不良者のチェック、連絡などは学校として必要ではないか。

(北中体育保健課長)

各学校では、毎日の体調管理のチェックシートや聞き取り、学校によってはサーモによる検温などの健康観察に取り組んでいるところである。

(空地委員)

休んでいる生徒や教職員の健康観察についても配慮してほしい。

(西上教育長)

各学校で休んでいる生徒については、学習支援の問題もあるため、適切に連絡を取るようにしていきたい。また、感染経路が不明な児童生徒が増えていることについては、臨時休業となった学校において可能な限り要因を分析するとともに、各学校に対しては登下校時、昼食時、部活動等でマスクを取る際の注意喚起をするなど引き続き対応していきたい。

### (2) 令和4年度兵庫県公立学校教員採用候補者選考試験2次試験（模擬授業）における変更点

(空地委員)

大変素晴らしい取組である。生徒にとっては、二次関数の放物線のグラフがかけられるかがポイントになるが、ソフトを使うと式を入れるだけでグラフがかけてしまうのではないか。

(稲次教職員課長)

二次関数の冒頭では、グラフのかき方から教えていくが、最大・最小値の分野になると、グラフがかけることを前提に、グラフを活用して最大・最小値を見極めるところが狙いとなる。

(牧村委員)

非常に良い試みである。世界はデジタル化が進んでいる中で、「教員になるためにはICTを活用した指導能力が不可欠」という認識を受験生にアナウンスすることが大事である。来年は理系、文系といったことにかかわらず、広い範囲へ展開してほしい。

(稲次教職員課長)

今年度は技術と数学で実施し、その課題を踏まえた上で文系科目、将来的には全教科に広げていけるように検討していきたい。

(西上教育長)

今年度は大学訪問を強化しており、ICTの活用が教員採用試験のためだけにならないよう大学側へもアプローチしていきたい。

### (3) オンラインによる教育委員会会議について

今回の定例教育委員会は、県内の感染状況を踏まえ、前会定例会で議決した会議規則に基づき、会議システムによる開催の検証を行うため、オンラインにて実施した。各委員から改善点を含め、意見、感想を伺った。

(清水委員)

オンライン会議での支障は感じなかった。しかし、オンラインの画面では、テーマによっては臨場感に欠け議論が遠慮がちになる可能性もある。月2回の定例教育委員会の重要性を認識しながら、対面による実際のやり取りの中でやりたい。

(牧村委員)

清水委員と同意見である。オンライン会議で特に大きな支障は感じなかった。テーマが軽いものであれば、オンラインでも良いと思う。しかし、テーマによっては対面で話をしないといけないものがある。その時々状況次第で活用の可否を検討すべき。

(空地委員)

違和感なく参加することができた。オンラインは、個人的には県庁への移動時間を考えると楽ではあるが、教育委員会という大変重要な会議のため、対面で議論するのが基本であると思う。

(横山委員)

他の委員と同意見である。対面には対面の良さがあり、オンライン会議は議題にもよる。今回、自宅のパソコンでも模擬授業がクリアに見られるなど、良い体験ができ興味深かった。

(並河委員)

目を見て、空気・温度を感じながら対面で会議をすることが改めて重要であると感じた。緊急の対策として、オンラインで実施することは有意義である。

(西上教育長)

今回初めてオンラインで開催し、いざという時に実施できることが確認できた。

## 7 閉 会

以 上